

1 実践の概要

実践校・園	にかほ市立金浦小学校・金浦中学校
テーマ	東日本大震災における災害派遣活動の紹介
外部指導者	陸上自衛隊第21普通科連隊第1中隊長 久慈勝義氏 隊員8名
実施日時	平成24年10月5日（金）14時00分から15時30分まで
実施場所	金浦小学校 体育館
参加者	金浦小5・6年児童82名 金浦中1・2・3年生徒138名 保護者47名 職員22名

2 実践内容

次第・講義内容等	時間 (分)	準備・留意事項等
1 小学校PTA会長あいさつと講師紹介	5	
2 第1中隊長久慈勝義氏のお話（スライド利用） ・陸上自衛隊の組織と任務について ・釜石市での災害派遣活動の紹介	35	・事前に、災害派遣活動のみならず自衛隊の組織と任務についての話をお願いした。
3 救助用具と装甲車の紹介（実物展示）	25	・総合学習シートを準備し、メモできるようにした。
4 救助活動に参加した隊員の感想発表	10	
5 質疑応答	10	・クラス毎に順番に救助用具等に触れ、隊員の説明を聞けるようにした。待っている時間を利用して、シートのメモから感想や質問をまとめるようにした。
6 中学校PTA会長お礼の言葉	5	
	計90	

3 参加者の感想

児童生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・自衛隊のがれき撤去作業前と後では、建物がとてもきれいになっていて、すごいと思いました。きれいにするには、想像できない苦労があったのだと思いました。また、車や家が流されているのを見て、改めて津波はこわいと思いました。最後にお話しされた絆を大切にしていきたいと思いました。（小学生） ・自衛隊の方が一生けん命復旧活動をしてくれたので、ここまで復活できたのだと思いました。学校の授業でも、地震の調べ学習をしてきたので、それも頭に入れながら、地震に備えていきたいと思います。（小学生） ・自衛隊の人達が、人命救助だけでなく、がれき除去や物資輸送など、私たちの知らないたくさんの方の支援をされていて、すごく勉強になりました。（小学生） ・東日本大震災の被災地での自衛隊の131日間の活動の写真を見て、日本の国を守り、国民や財産を守る大切な仕事をしていることを改めて感じた。久慈さんは「日本国民の命を守ることが自衛隊の仕事だから」と話していたが、何かあったときに自衛隊が必死に仕事をしてくれることが分かって、すごい職業だと思った。（中学生） ・これまで学校で避難訓練があったときには「訓練だから」という気持ちで参加することもあったが、これからは、久慈さんの「ふだんからの避難訓練をきちんとする」という言葉を大切に、真剣に避難訓練に参加していきたいと思った。また、中学生が小学生の手を引いて逃げて助かったことを聞いて、何かあったときには自分だけでなく、まわりを見て、できることを考えて行動したいと思った。（中学生）
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・大震災での被害の様子を見ると、不自由なく暮らせている自分達はとても幸せなのだと思います。これからも、親子で「防災」「絆」「命」について話をしていきたいです。 ・自分の故郷が被災地であり、自分の家族が被災者であっても、任務のため、そこへ

向かうことができなかった隊員の人は、どんなにかはがゆかったことか。本当は自分の家族のもとへ誰よりも一刻も早く向かいたかったであろう事を思うと、とても複雑な思いです。それと同時に、そのような強い心をもった隊員の方々が私たちを守ってくれているのだと思うと、とても心強く思います。また、災害時に使用する道具を実際に見て触ることができ、大変貴重な時間を過ごすことができました。

・にかほ市を守ってくださっている自衛隊の方が釜石の方で救護・救助活動をされていたことは初めて知りました。私たち民間人は、市役所に物資や義援金を持っていくことしかできませんでしたが、そういった物を現地に運んでくださり、人命救助にあられたご苦勞を思うと、ただただ感謝の思いです。仕事とはいえ、災害の現場での作業は本当に辛いものだったと思いますが、こうして私達にも聞かせていただいていたありがたく感じています。これからもお体を大切にがんばっていただきたいと思います。

4 成果と課題

<p>成 果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 総合的な学習の時間に学習した地震と津波の恐ろしさ及び防災の重要性を、本事業を通して再認識することになった。 2 自衛隊の普段の生活について質問するなど、職業としての自衛隊についても理解が深められ、キャリア教育の役割も果たした。 3 同じ講演を児童生徒と保護者が聞き、また、後日講演内容と感想を載せた「PTAだより」を発行したことで、家庭の話題になり、防災を考える機会を提供することになった。
<p>課 題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 災害派遣活動の概要の紹介だったが、具体的事例があれば、災害と自衛隊の働きがより一層心に残ったのではなかったか。講師と直接打ち合わせをすることが重要である。 2 講演だけでなく、救助用具を実際に使ってみるなどの体験活動を組み合わせることでより効果的な指導となったと考えられる。 3 今年度小・中合同の避難訓練を実施しているが、今回の講話をもとに、児童生徒自身に何ができるのか、考える機会を設けていきたい。

